

経験と勘で築いた技術に、数値を加えてより確実に

水産研究機関、養殖場、水族館等での
飼育水“アンモニア濃度”を
簡単・迅速・正確に測定できるようになりました！

最短 数秒で測定できます

電量滴定方式アンモニア計
Quick Ammonia AT-2000型



測定は3ステップ

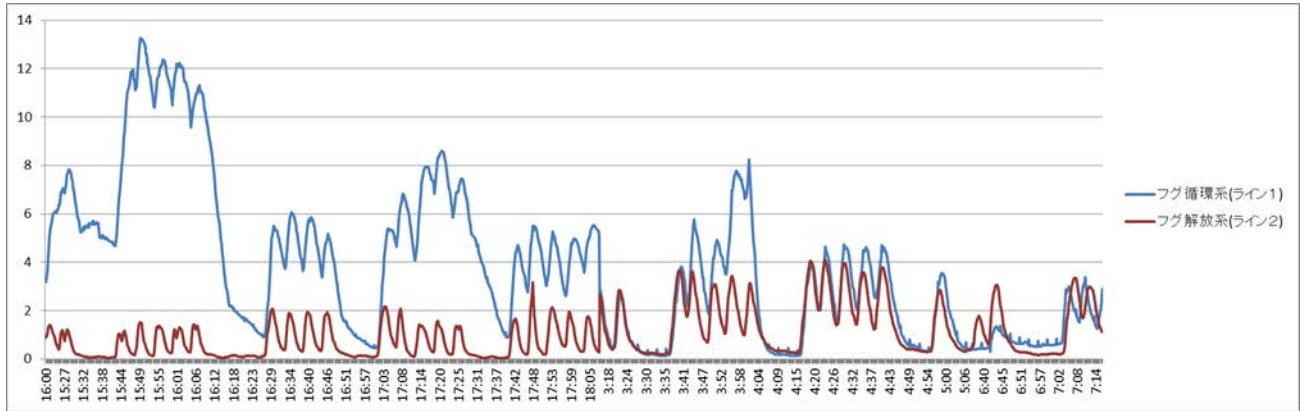
【特長】

- 測定時間が短い・・・1分以内（測定範囲 0～20mg/L時）
- サンプルの塩分や濁り・着色に影響されずに正確な測定ができます
- 低濃度から高濃度の幅広い測定範囲
- 標準液の用意や校正は不要
- 使用する試薬は1種類（専用電解液）のみ。ランニングコストも安く済みます。



セントラル科学株式会社

飼育水中のアンモニア濃度は、給餌などにより大きく変化しています。



実測データ例：フグ飼育水槽のアンモニア濃度推移 (タテ軸) アンモニア濃度mg/L (ヨコ軸) 時刻

フグでの測定では、給餌後すぐに水中のアンモニア濃度が上昇し始めるデータが得られています。

★測定は自動連続電量滴定式アンモニア計AT-3000型を使用(2013年夏、発売予定)。

成長率の違い・生存率の差は、 飼育水中のアンモニア毒の影響を受けていないでしょうか？

アンモニア計AT-2000型は、時間や手間のかかる従来のアンモニア測定方法(イオン電極法、他*)の難点を解消した、「電量滴定法」の原理を採用しています。

	電量滴定法	イオン電極法
電極のコンディショニング	なし	あり
測定器の校正	測定原理上、校正が不要	標準液で校正を行なう
電極のメンテナンス	電極部品等の交換が不要	電極用の膜や内部液等の交換が必要
測定に要する時間	測定時間が短い	低濃度の測定に時間を要する
ランニングコスト	交換部品や交換頻度が少ないため、コストがあまりかからない	交換部品や交換頻度が多く、コストがかかる

☆上記以外のアンモニア測定方法

- 比色法(インドフェノール青法) → (難点) 発色時間に時間を要する、サンプルの濁りや色の影響を受ける、廃液処理、など
- 中和滴定法 → (難点) 手作業のため測定に時間を要する、など
- イオンクロマトグラフ法 → (難点) 高価、技術の熟練者が必要、など



セントラル科学株式会社

本社 東京都文京区本郷3-23-14 TEL (03) 3812-9186

大阪支店 (06) 6392-1978 名古屋支店 (052) 939-1377

九州営業所 (092) 475-4621

URL: <http://www.aqua-ckc.jp>